

横浜市子ども読書活動推進計画（第二次）素案意見募集結果

1 意見募集概要

(1) 募集期間

平成23年2月14日（月）～3月4日（金）

(2) 意見公募周知方法

①本市教育委員会生涯学習ホームページ「はまなび」に素案内容を掲載

②区役所広報相談係、市民情報センター（市庁舎1階）、市立図書館にて素案冊子配布

(3) ご意見の応募方法

電子メール、FAX、郵送

2 募集結果

投稿数 18件 意見数 39件

(内訳)

意見内容		意見数
学校	学校図書館司書、司書教諭に関すること	17
	「はまっこ読書ノート」の活用に関すること	3
	検索システムの整備に関すること	1
	その他	2
図書館	家庭読書推進支援に関すること	3
	蔵書の充実に関すること	2
	学校図書館との連携・支援の推進に関すること	1
全般	講座の開催など普及・啓発に関すること	3
	ボランティア活動に関すること	3
	その他	4
合 計		39

3 意見要旨

	意見	考え方
学 校	<p>第3章 2 読書活動推進の基本方針「基本方針3 読書を支える人材の育成」 「司書教諭や学校図書館支援スタッフ」だけでなく「学校司書」の文章も入れて欲しい。</p>	<p>子どもたちへの読書活動の推進や、図書館の重要性を学べるよう、本市では司書教諭の資格を持つ教諭に対し、兼務発令を行っております。専任の司書教諭を配置することは財政上困難ですが、引き続き、学校における読書環境の充実に努めてまいります。</p>
	<p>第4章 1 子どもの発達段階に応じた読書活動の推進 (2)小・中学校における読書活動の推進 学校図書館への「人」の配置も盛り込んで欲しい。(他 同意見1件)</p>	<p>【意見に基づく修正】 (P8)第2章 2 (1)子どもの発達段階に応じた読書活動の推進 イ 小中学校における読書活動 課題 の文章を変更しました。</p>
	<p>計画実施の上で重要な担い手である学校図書館運営スタッフが不十分である。司書教諭と学校司書の配置を進めて欲しい。自身も図書館のボランティアであり、協力・支援をしていきたい。</p>	<p>修正後 子どもの読書活動推進のためには、学校図書館の環境整備や活性化を図るための「人」の配置も重要な課題です。</p>
	<p>横浜市全体の図書室の環境整備を継続・向上させていくためには、学校図書室への専任司書を配置し、専門的な進言を受けられることが一番の近道ではないかと思う。</p>	<p>司書教諭及び学校図書館担当教諭の研修会を充実するとともに、図書館司書による学校図書館づくり支援等市立図書館との連携強化が求められています。</p>
	<p>学校司書を配置し、司書教諭と連携しながら市内の学校司書の連絡会などをもち、児童・生徒たちが心から読書を楽しめる環境を整備して欲しい。</p>	<p>(P19) 第4章 1 (2)小・中学校における読書活動の推進 取組2 読書を支える人材の育成が重要と考え、4)、5)の取組を1)、2)の取組と順番を入れ替えました。</p>
	<p>なぜ、学校司書がないか不思議ではありません。小学校での図書室や学校司書は重要な役割を担っていると思います。学校司書の方がいれば、子どもたちにも素敵な本と出合えるチャンスがもっと沢山あると思います。</p>	<p>修正後 1) 司書教諭の適正配置及び学校図書館支援スタッフによる支援強化 2) 司書教諭及び学校図書館担当教諭の研修充実</p>
	<p>小学校司書を配置し、「児童数に対して蔵書数が少ない、本が整理されていない、図書室が少ない」といった課題解決をお願いしたい。</p>	
	<p>小学校の図書館があまりに寂しく、活用が少ない。次世代の子どもたちの教養を育み、本の世界へといざなうためにも専任司書の配置をお願いしたい。</p>	
	<p>学校図書館に専任の司書が入らない現状の限界を感じます。学校図書館に専任の司書を。中学校、隣接の小学校をセットにして、専任司書が一週間巡回する等の取組に踏み出して欲しい。</p>	
	<p>読書コーディネーター等ボランティアはあくまでボランティアであり、司書に代わるものではない。学校での読書活動の根本を支えるのは学校司書であり、学校司書の配置をすることで、多くの問題は解決される。(他 同意見2件)</p>	
	<p>学校図書室への司書の配置をお願いしたい。「子ども読書コーディネーター」の養成だけでは学校図書館の質の向上にはつながらない。</p>	
	<p>学校図書館司書が常駐していなければ、せっかくの電算化も蔵書も生かせないと思う。</p>	
<p>「司書教諭」を全ての学校で専任配置し、本と子どもをつなぐ役割をお願いしたい。兼任では実際の活動につながらない。</p>		
<p>第4章 1 子どもの発達段階に応じた読書活動の推進 (3)「高等学校における読書活動の推進 取組2、3」 「現在配置されている図書館司書」を「・・・学校司書」として欲しい。 そのためにも、市立高校に臨時採用ではなく、正規の学校司書を配置して欲しい。</p>	<p>司書教諭の配置については、法令に則り適正な配置を実施しております。</p>	
<p>はまっ子読書ノートは、各学校・担任により指導や活用方法など取組が違い、活用状況に差が出ている。ぜひ、有効な活用方法を検討してほしい (他 同意見2件)</p>	<p>小学校においては、日常の読書活動の充実に向けて、保護者との連携を図り、「はまっ子読書ノート」の活用啓発に努めてまいります。</p>	
<p>検索システムの整備の進捗状況を把握しているのだろうか。各学校の裁量に任せている格差が広がるばかりであると思う。</p>	<p>【意見に基づく修正】 (P18)第4章 1 (2)小・中学校における読書活動の推進 取組1 2) 「はまっ子読書ノート」の日常的な活用に「有効」を追記しました。</p>	
<p>第1章 2 読書活動における動向 (2)学校図書館の新しい役割 「学校図書館の機能充実として、自発的、主体的な学習活動を支援する学習・情報センターとしての機能と読書センターとしての機能を果たすことを挙げています」と学校図書館の充実を目指していることが、今回の案が策定された背景にあることは、何よりも嬉しい事です。</p>	<p>修正後 2) 「はまっ子読書ノート」の日常的な有効活用(小学校)</p>	
<p>学校における読書活動推進の取り組みについてかなりばらつきがあることを把握しているのだろうか。</p>	<p>図書検索システムの整備については、各学校が実情に応じて取り組みを進めておりますが、教育委員会としても整備の支援しております。</p>	
<p>第1章 2 読書活動における動向 (2)学校図書館の新しい役割 「学校図書館の機能充実として、自発的、主体的な学習活動を支援する学習・情報センターとしての機能と読書センターとしての機能を果たすことを挙げています」と学校図書館の充実を目指していることが、今回の案が策定された背景にあることは、何よりも嬉しい事です。</p>	<p>今後も、横浜の子ども読書活動の推進に向け、取り組んでまいります。</p>	
<p>学校における読書活動推進の取り組みについてかなりばらつきがあることを把握しているのだろうか。</p>	<p>学校における読書活動については、各学校の実情に応じて取り組みを推進しております。</p>	

図書館	乳幼児健診等でのリーフレットの配布だけでなく、読み聞かせの方法を実際に図書館員に指導して欲しい。また、ブックスタート事業として絵本セットを配布して欲しい。	ブックスタート事業として、無料で絵本を配布することは予定していませんが、市立図書館では、区福祉保健センターの4か月検診での読み聞かせや子育て支援施設等における読み聞かせについての保護者向け講習会の実施等、家庭における読書の推進を支援しています。 【意見に基づく修正】 (P16)第4章 1 (1) 乳幼児・未就学児における読書活動の推進 取組 6 4) 乳幼児健診等での広報(区福祉保健センター等)の内容に「読み聞かせの方法など保護者への啓発を行なう。」の文章を追記しました。 修正後 ※読み聞かせをすすめるリーフレットなどを配布するとともに読み聞かせの方法など保護者への啓発を行なう。
	公共図書館の数が少ない。貸出冊数が伸びない原因の一つ。図書館の分館を作ったり、文庫活動支援、ブックスタートによる家庭読書推進支援が必要。	市立図書館では、団体貸出・グループ貸出により、地域の読書活動を支援しております。今後も、横浜の子ども読書活動の推進に向け、取り組んでまいります。
	ブックリストやガイドが活用されているか、実態を把握しているか。	各種ブックリストについては、配布のみではなく市立図書館主催の研修・講座・展示会等で活用してまいります。また、ボランティア団体の研修等でも活用されているとのことです。増刷を予定しております。
	公共図書館が教職員や団体向けに貸出しを推進することで、一般利用者への貸出しサービスが低下しないためにも、公共図書館の予算を増やす必要がある。	限られた予算の中で、効果的に資料を収集するため、平成22年度から市民・企業にむけて、児童書の寄贈をお願いしています。引き続き、継続してまいります。
	市立図書館で絵本を借りた際に、壊れていたり破れているものを多く見かける。蔵書の充実をお願いしたい。	市立図書館では学校図書館と連携し、子どもの読書活動の推進を進めてまいります。
全般	市立図書館の学校図書館との連携・支援を進めて欲しい。そのためにも市立図書館に専門職としての司書の配置を進めて欲しい。また、指定管理や業務の外部委託は図書館の仕事になじまないと思う。	市立図書館では、地区センター・コミュニティハウスその他子育て支援施設等の、より身近で親子で集まりやすい施設において、保護者向けの読み聞かせの実演と講座を実施してまいります。
	親向けの講座・講演会は場所が遠くて行けないことが多い。各地の図書館などで同様の講座を多く開催する必要があるのでは。(他 同様意見1件)	市立図書館では、地区センター・コミュニティハウスその他子育て支援施設等の、より身近で親子で集まりやすい施設において、保護者向けの読み聞かせの実演と講座を実施してまいります。
	『本の世界をひろげよう 読み聞かせボランティアハンドブック』の増刷をして欲しい。保護者ボランティア講習会などで役に立つ。	各種ブックリストについては、配布のみではなく市立図書館主催の研修・講座・展示会等で活用してまいります。また、ボランティア団体の研修等でも活用されているとのことです。増刷を予定しております。
	地域ボランティアの支援として「おはなし会」に謝金がある程度充実しているといい。活動原資となる。	地域ボランティアの活動に対しては、ボランティアの養成、研修の実施、「おはなし会」で使用する資料の提供等により支援しております。
	保護者や地域の方々により読書活動が行われていて、学校での読み聞かせボランティアが10年以上継続している。教育委員会は読書コーディネーターの派遣など上からの押し付けではなく、保護者の活動を理解し、見守ることであると思う。	読書コーディネーターの派遣については、学校のニーズに応じて実施しております。今後とも、読書活動の充実に向けて、学校・家庭・地域が丸となった取組に努めてまいります。
	ボランティア活動をする上で、司書がいると相談しやすい。週1回の図書館司書の学校図書館来訪をお願いしたい。	市立小中学校全校について、毎週司書が訪問することは困難です。各学校の学校図書館で活動するボランティアを支援するため、読書コーディネーターが派遣されていますが、市立図書館では、読書コーディネーターの養成・スキルアップ研修の実施等により活動を支援しています。
	魅力ある新鮮な本があまりに少ない。学校図書館・市立図書館に十分な資料を用意できる予算を確保して欲しい。	厳しい財政状況ですが、引き続き、必要な予算の確保に努めてまいります。
	「児童館」の設置も必要ではないか。子どもが遊んだり読書したり、子ども向けのイベントなどでもできるような環境があることが読書の推進につながるのでは。	ご意見として参考にさせていただきます。
第1章 1 読書活動の必要性 (3)なぜ、子どもにとって読書が大切か 「子どもに読書の楽しさを伝え、子どもと本を結びつける「人」の存在が重要です。」という一文に共感した。	今後も、横浜の子ども読書活動の推進に向け、取り組んでまいります。	
計画の内容には大賛成です。	今後も、横浜の子ども読書活動の推進に向け、取り組んでまいります。	